

学力向上交流会Ⅲ

◇千葉県教育委員会では、「ちばっ子『学力向上』総合プラン」の一環として、県内8か所で「学力向上交流会」を実施しました。

◇いすみ市立中川小学校（11月18日開催）の「学力向上交流会」の様子を紹介します。授業公開、全体会、分科会が行われました。

東上総地区 いすみ市立中川小学校

研究主題

「自分の考えをもち、進んで表現する子どもの育成」
～算数科における学びあう活動の充実を通して～



主催者挨拶
小畑 指導課長



児童は、課題をしっかりと捉え、発表前に自分の意見を明確にして、説明しました



各教員は、児童全員が発表できる場を設定したり、ノート指導をこまやかに行ったりしました



課題を選んだ児童同士でグループ編成し、求め方を発表用ボードに記入後、協議しました



自分たちで考えた解決方法を、図形モデルの操作役と説明役がペアとなって発表し、その後、学級全体で協議しました



一定の金額内で「遠足のお菓子を買う」場面を題材に、お菓子の組み合わせを選んだ理由を明確にして、お互いの考えを発表しました



分科会 魅力ある授業づくりの達人「理科」カブトムシを教材とした取組に対し、参加者との熱心な協議が行われました

子どもたちの学力向上には、授業改善が必須との考えのもと、児童が自分の思いや考えを伝え合い、学び合う姿を求め、「実践モデルプログラム」と「生徒指導の機能」を生かした授業が展開されました。各授業とも、全ての児童に「出番」が設定されており、課題に果敢にチャレンジする児童の姿がありました。

「学力・学習状況検証事業」協力校の取組発表や、いすみ市の「地域人材活用による基礎学力向上の取組（たけのご塾の実践）」等の分科会において、活発な意見が交わされました。

この件についてのお問い合わせ 教育振興部指導課 電話 043-223-4057